

明德公園自然観察会

5月7日(土) 9:30~12:30 天気 曇り 10時46分現在 気温 18℃

参加者 一般大人2人、指導員：辻、大谷

白谷さんが先月見つけた蛾の幼虫を育てて見せてくれました。また公園内で捕まえたというアオダイショウの子どもを見せてくれました。今日は樹木に詳しい方と蛾に詳しい方の参加があり、お互い勉強になったことが多かったです。少し歩けば観察また観察で予定のコースが終わらず時間を大幅に超えてしまいました。

花：ユキヤナギ タンポポ セイヨウタンポポ ホトケノザ ヒメジョオン ハルジョオン キウリグサ カラスノエンドウ スイバ ヤブタバコ サワフタギ カマツカ ウラジロノキ ミヤマガマズミ ニガナ タカノツメ

昆虫：クワエダシヤク（昔 この虫をどびん割と言われたとか）

鳥：コゲラ ヤマガラ

他：アカガエルのオタマジャクシ ワカバグモ ギンヤンマの抜け殻

- ・アオハダとツルウメモドキの葉の样子の違い
- ・トウネズミモチとネズミモチの葉脈の違い
- ・キショウブとガマの葉の違い 中軸がないとねじれる
- ・落葉樹と常緑樹の葉の葉脈の違い、表面の違い、厚さの違い
- ・長寿の樹木の特徴

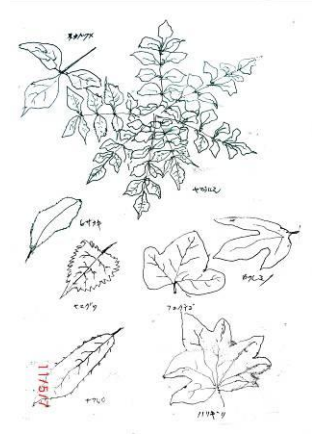
タンポポ調査 駐車場脇の草むら29株中7株のセイヨウタンポポでほとんどが在来種であった。

参加者の声

- ・いろいろな所の風景が違うのはそこに生えている植物が違う。この場所でこの季節に色などを感じ撮っている。この公園には160種生えているが今日は62種確認出来た。
- ・この公園をどうしたいか？どうしたらいいのか皆さんの意見を聞きたい。

公園の役割や公園の利用の仕方 マナーなど多数意見が発表された。(以上、記録：大谷)

・自分の知らない世界に触れて生まれる感動から気づかされることあり、内側がふくらむ感覚あり。多様な人と共に歩く観察会の意義を感じる。自然・芸術・文化など様々な切り口でいのちを喜び合う世界を広げたい。「愛することは知ること」の名言印象に残った。(辻)



スケッチ



ワカバグモ



ギンヤンマ